

恩師 安積桑野七十五期 主な同窓生へ発行部数三二〇部 老後の生き方を真剣に問いかける豆新聞 811 数字は卒業期

安七五期

葉書との同級会

三月一日二二〇期生の卒業式桑野会役員の末席の一人として出席。厳粛なうちにも温かみのある式であった。入場の音楽も例により五十嵐良枝(本年退職)指揮吹奏学部、本年の曲は威風堂々。女子の卒業もこれで三年目年々華やかな着袴姿が増えて、「天童よしみ」風も居た。共学はいいな「カラフル」なのである。安積歴史博物館の事務員交替。新事務員一人で稼動する筈が日程のやり繰り付かず私も臨時事務員で手伝いに首を突っ込むハメになっ

た。新事務員柳沼征寿の期武田徹の期は非常に改革意欲に富む先輩で煽られつつ放し、抜けるに抜けれなくなりそう。四月九日二三期生入学式両親が揃って参列する。そして父兄席から立ち上がって我が子の晴れ姿をビデオカメラで回すのである。こっぴどくさくさとして考える私は古くさい?式後に校歌披露があった。合唱部の生徒、女子の男子の人がステージに上がる。整列して丁寧な礼をして、無伴奏で歌い始める。ワカクサ、モユル。決してバンカラな太い嫩草萌ゆる・・・とは違つ。私たちは声を張り上げる事も出来ず啞然と見守るだけ。ここ

で又も共学校をジューワと実感させられるのである。入学式の九日は月曜日で安歴博は休館日であった。「入学式に休館とはおかしい。新入生と父兄に見学頂こう」との武田の意見で急遽臨時開館となった。しかも入学式の校長の言葉で関博之校長に「諸君の先輩がかつて学んだ安積歴史博物館を見ていくように」と言つて頂いた。祝辞で同じ事を佐久間崇之安積桑野会長の期も言った。入学式の後、仲村哲郎館長の期も私も待機した。入学式の後、続々と親子連れ立って安歴博の見学にやってくる。見学者用スリッパが足りないのに何処にあるのか判らない。松尾昌

一安積桑野会幹事長の期が物置から予備スリッパを出してきた。殆どの新入生と両親は立ち寄つて行った。安歴博働いての実感、入館料収入は年間たつたの五十万円。これは何とかせねばならない。今年文化庁の指導で防災計画が実施される見通しとなった。総額約五千万円の約一割は自己負担なのである。さらに、館内いたるところ補修の必要を感じるのに先だつものが足りない。卒業生は我等の学び舎旧本館を意識せよ! 佐藤雄平知事誕生による参議院議員補欠選挙は自民党公認山口勇の期と民主党公認増子輝彦の期の安積OB対決となった。結論は23日朝に。

無責任編集 敬称略御容赦 郡山市熱海町熱海四の二九 村田英男 連絡は FAX0249-84-2131 deo@kirakuya.jp に送った